



折戸小夜子 (フェアな市政)

食育の推進と学校給食の現状

- 問** 2月16日から6回学校給食を試食した。週4回を目標に米飯給食の献立が作成され取組まれている。児童・生徒が喜んで食べているのか食残量の状況について伺う。
- 答** 平成30年度は小学校で約32,000kg、中学校では約14,000kg、令和元年度は小学校で約28,000kg、中学校では13,000kgの食残量が発生している。
- 問** 学校給食で欠かさず出されている牛乳は、骨を作る上で大切な食材とされていると思うが、牛乳の残数の状況を伺う。
- 答** 平成30年度は小学校で35,881本、中学校では40,283本、令和元年度は小学校で35,684本、中学校では40,477本、令和2年度6月から1月まで、小学校では43,845本、中学校では71,586本となっている。
- 問** 多摩市教育委員会が、平成27年度に「食品ロスの削減に向けて」の冊子を発行している。しかし学校給食での食残量を減らすために具体的に食育の推進を図る必要があるのではないか。
- 答** 児童・生徒が食事に興味と関心を持って、喜んで食べる楽しい給食であるよう献立会議でも工夫を重ねる。



安斉きみ子 (日本共産党)

1. 諏訪・永山まちづくり計画について
2. 乞田川に魚の遡上を実現するには

- 問** 諏訪・永山まちづくり計画の進捗状況を伺う。
- 答** 駅拠点の再構築については、多摩ニュータウン再生推進会議と情報共有を行う。分譲マンション再生については建替え事業や既存ストック再生型事業にも支援策を開始した。公的賃貸事業についても都営建替え、UR諏訪団地で建替えの検討・準備が進められている。
- 問** 乞田川に魚の遡上を実現したいという声がある。治水工事と合わせ、自然環境に配慮した川づくりが必要ではないか。
- 答** 生物多様性の保全も推進していきたい。
- 問** 諏訪下橋から下流に向かう河川の工事はこれからだと聞く。そこにある落差工や護床ブロックは魚の遡上を妨げている。魚道を作る工法を検討するよう都に声を上げて欲しい。
- 答** 魚道が必ず設置されるという確約はできないが、都に対しては、魚道の設置も含め、環境に配慮した改修工事を要望したい。



乞田川の魚道(永山橋付近)



あらたに隆見 (公明党)

1. めざすべきデジタル社会について
2. ワクチン接種を円滑にするために

- 問** デジタル社会に取り組むわかりやすい市のビジョンを明確にすべきではないか。
- 答** 新たな情報化の方針としてビジョンをまとめていく。
- 問** 専門的な知識を有する人材の登用が必要ではないか。
- 答** 外部人材の登用や庁内の推進体制を検討していく。
- 問** 市民が使い慣れたLINEを利用した行政サービスの充実を図るべきではないか。
- 答** 4月より情報選別機能や手続き等のお答え機能や、便利アプリへのリンクを実装する。今後は疑問解決や電子申請の支援及びアンケート等の市民参画の促進を検討していく。
- 問** 高齢者のインターネット利用も増えてはいるが不慣れた方のためデジタル支援員を配置するべきではないか。
- 答** 国が掲げる誰ひとり取り残さないデジタル化に向け、どのような取組みが可能か検討していく。
- 問** ワクチン接種の効果をどのように受け止めているか。
- 答** 感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として感染症のまん延予防が期待されている。



いぢち恭子 (ネット・社民の会)

コロナ禍を経て考える「公助」と「共助」

- 問** コロナ禍で非正規公務員の働き方に変化はあったか。
- 答** 感染抑制策のため出勤時間が減った場合は、翌月で取り戻せるように配慮した。
- 問** 非正規公務員の仕事は介護、育児、相談業務など市民と接する職種が多く、しかも女性の比率が高い。逆に意思決定機関では女性が少ないが、対策はあるか。
- 答** 「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」でも女性の活躍推進を打ち出していく。
- 問** 非常時にも「公助」を担う公務員の働き方と処遇をよく考えてもらいたい。また、「共助」を強固にするという観点から、地域委員会構想の進捗状況を伺う。
- 答** 2つのモデルエリアを選び、市民を「つなぐ」掘り起こす「支える」取組みを始めている。
- 問** 住民同士の助け合いやまちづくりに意欲のある市民はたくさんいると思う。どのように「つなぐ」予定なのか。
- 答** 数名のリーダーを探すよりも、皆が参加できるフラットで継続可能なプラットフォーム作りをめざす。

